

## 各会派代表者会議

1. 日 時 令和5年8月3日（木） 16：00～16：15
2. 場 所 第1委員会室
3. 出席者 正副議長 赤司議長・辻本副議長  
会 派 つくし野（横尾議員）・市民会議（上村議員）  
公明党筑紫野市議団（宮崎議員）  
執 行 部 平井市長、平嶋副市長  
宗貞企画政策部長、中尾企画政策課長  
事 務 局 荒金局長・大久保課長

### 4. 議 題

#### ○ J T跡地について

市長： J T跡地が年末から来年はじめにかけて売却される可能性がある。当該地は、市の中心部に位置し市庁舎にも近い、また、文化会館などの公共施設も隣接しており市にとって要となる場所と考えている。今後、これだけのまとまった土地が出てくるとは考えにくい。

もしも、J T跡地を市が購入できた場合、どのように活用していくかは現時点では具体的には決めていない。具体的な使い方については、今後、議会の皆さんのご意見を聞きながら検討していきたいと思っている。

当該地が売買される時期は未定だが、市としては議会の皆さんと一緒に土地の入手に向けた取り組みを行っていただけないかと提案させていただきたい。

横尾： これだけの面積がある土地は市内に二度と出てこないと思う。公拡法で購入できるのであれば良いと考える。

今後、土地利用については、議会と共に協議していきたいと提案を受けたことを会派に持ち帰り諮り意思決定したい。

買取できるのか、金額がいくらになるのか、土地利用などはっきりしていないとのことだが、前向きな方向で考えていきたい。

上村： 現在、第七次総合計画を検討しているなかで、この土地をまちづくりの中にどのように位置付けていくかなど、内容のようなことを提案していただかないと議会としては議論しにくいと考えるので心していただきたい。

また、公拡法が安く土地を手に入れることができるという話とは違うと理解している。

宮崎：J T跡地については市民も大変注目している。

購入後の土地利用は今後、検討していくとのことであるが、市民のいろいろな声を集約する必要があると思うし、市民の声をどのように反映していくのか懸念するところである。

辻本：せっかくの土地なので購入できればいい話である。

購入について事前に議会に提案され一緒に協議していこうとする姿勢は、これまでのやり方と違うものであり評価させていただきたい。

当該地を購入できるかわからないが、市民と共に夢を語れるような機会にしていただければと思う。

議長：今回、市長からの意思表示を代表の中で受け止めた。今後、22人を取りまとめたいが、議論するためには圧倒的に情報が少ないので情報提供を要請することもあると思う。

横尾：第七次総合計画と当該地の土地利用は絡んでいくのか

市長：第七次総合計画に、当該地の利活用等を謳うことはタイミング的に難しいと考える。

J T側と強い交渉を行っていない状況で、まずは、議会にこういう話を通させてもらって、議会と市が方向性を一つにした中でJ Tにも話をしていきたいと思っている。

また、市民からは懇談会や市民アンケートの中で、J T跡地を市が取得して市民サービスや市の発展のために活用してほしいとの意見を多くいただいている。

そのあたりを踏まえて、J T跡地をどう利用していくかは大きな課題であり、すぐにはお示しできないが、現時点で、J Tが売却の意向を示せば、市としては議会の協力をいただいて購入したいと考えている。

以上